

いわむら

発行所 岩室村役場
印刷所 巻・北洋印刷K.K

No.181

岩室村の人口

(3月31日現在) 前月対比

男	4,340人	(-12)
女	4,804人	(-14)
計	9,144人	(-26)
世帯数	2,168世帯	(-1)

(住民基本台帳による)



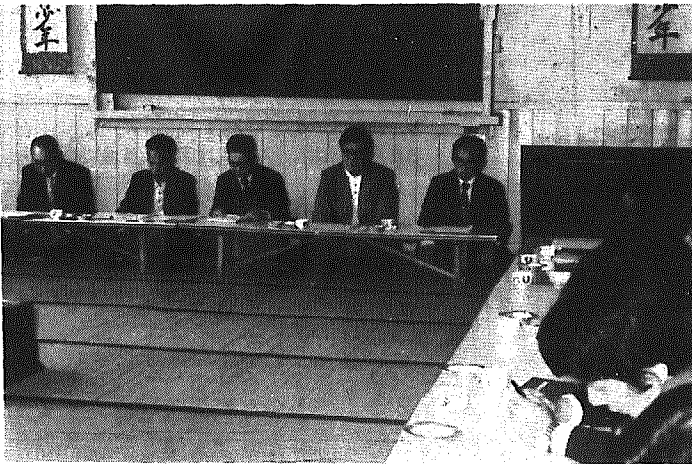
住みよい村づくり施策着々と

「明日の岩室村を考える会」が発足

「明日の岩室村を考える会」が発足しました。これは、明かるく住みよい村づくりを村民の参加により構想してもらい、それを村政に反映し、住民本意の行政を推進するという発

「明日の岩室村を考える会」は、金子村長が本年度の施政方針のなかで提言して広く身近な諸問題を提起しながら岩室村のあるべき姿を探究する使命をもつこの会には、村内各層から十九名の方々が委嘱されました。

去る四月十二日には、第一回の会合をもち、会長に田中四郎氏を、副会長に藤田幸一氏をそれぞれ互選するなど分科会構成も



「明日の岩室村を考える会」委員

(敬称略)

- 会長 田中四郎
副会長 藤田幸一
委員 八木清主、岸本道雄、坂下恵一、竹内正雄、佐藤悦夫、伊藤忠光、田中勝一、金子光栄、若杉栄一、野川栄一、石橋利彦、高橋福太郎、遠藤福太郎、早川喜三、竹内雄二、坂田雄二

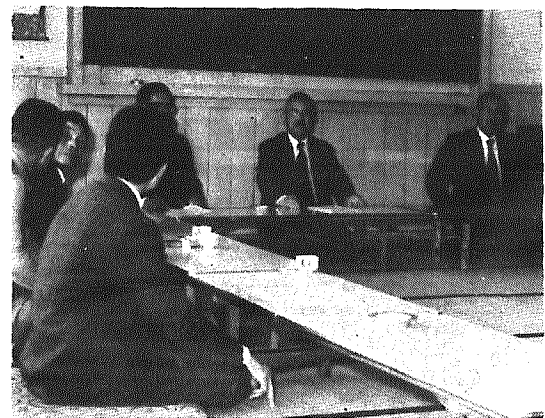
終了しました。席上、金子村長は諮問のあいさつとして「昭和四十九年に策定された長期構想は、社会事象の変転により見直し修正する必要がある。したがって、あくまでもこの長期構想を基本としながら、現実を直視し、照査しうえて、三〜五年先を実現可能な範囲で構想してほしい」と述べ、対して、考える会を代表して田中会長から「村民の期待に応えるよりつばな答申をしたい。」岩室村に住んでよかった」といわれる。そんな村づくりを構想したい」と決意の表明があり、年度内容申をめぐり本格的な研究討議が行われま

動を行ってききました。各小中学校児童生徒の協力を得るなどして意義深い発想であり、それなりに実効もありました。しかしマンネリ化の傾向も否めず、過去八年間の実績を基に更に一歩進めた形で村民憲章を制定することになったのです。そのため、村民憲章起草委員会が発足、去る四月十四日に第一回委員会が開かれ委員長に阿部誠治氏、副委員長に本間泰氏を選出し今後の作業日程を協議いたしました。

村民憲章起草委員会も始動 年内制定をめざす

昭和四十四年以来、村では毎年実行目標を掲げ、ぐるみの実践指標として運

岩室村の特性を活かした親しみやすいものに……とか額付で配布したらどうか……はやくも具体的な意見



が集中し、今後、慎重に検討を続け、年内には、成案が答申されることになっております。

村民憲章起草委員

(敬称略)

- 委員長 阿部誠治
副委員長 本間泰
委員 有坂正家、本間儀一、本間泰一、山本清郎、山本忠芳、中上金一、本原上金、川原松一、川原正一